

人口減少社会の到来と少子高齢化の進行に柔軟に対応

第4次越谷市
総合振興計画
後期基本計画

5つの
重点戦略

今後5年間に重点的かつ優先的に実施する「重点戦略」は、さまざまな分野の異なる事業を一体的かつ重点的に展開することによって総合的な成果をねらいます。

また、関連施策との連携を図ることにより、計画全体の实效性を高め、個性的で魅力あるまちづくりの展開を目指します。

問政策課 ☎ 963112

わが国は、人口減少社会に入っており、将来にわた

り活力ある地域社会を維持するためには、子どもが健やかに成長でき、また、だれもが自分らしく暮らせる環境の実現が求められています。

そのため、安心して子どもを産み、育てることができるよう各ライフステージに応じた子育て・教育環境の充実を図ります。

子どもも高齢者も元気な
未来創造プロジェクト

重点戦略
①

また、子どもから高齢者まですべての人がいきいきと暮らせるよう健康なライフスタイルづくりを支援します。さらに、多くの人々が「越谷に住んでみたい」「住んでよかった」と思えるよう、多世代が住み続けられるまちづくりを進めていきます。

重点戦略事業

- ◇新保健センター整備事業
- ◇母子健康づくり事業
- ◇がん検診等事業



▶子育ての悩み相談や親子の交流の場の充実を図ります(子育てサロン)

個性豊かな地域づくりに市民の力は欠かせません。子育て、高齢者の見守りなどの地域福祉、防災などの公的な分野において多様な活躍が期待されます。

そのため、市民参加と協働によるまちづくりの体制を整えるとともに、市民活動の活性化に取り組み、市民が主役のまちづくりを進めます。

地域の協働推進
プロジェクト

重点戦略
②

また、13地区からのまちづくりをより一層推進するとともに、地域コミュニティや市民活動団体のコーディネート機能の強化を図ります。さらに、NPOや企業等多様な主体と地域との協働を進めます。

重点戦略事業

- ◇市民活動支援事業

昭和40年代の人口急増期に集中的に整備した学校や保育施設等の公共施設、公共下水道や道路、橋りといった都市基盤が、今後、一斉に更新等の時期を迎えます。そのため、計画的な老朽化対策や更新経費等の平準化による財政負担の軽減、公共施設等の最適な配置が求められています。

昭

そのため、公共施設等総合管理計画に示された老朽化対策に基づき、市民との情報共有を図りながら、市民が公共施設等を安全で快適に利用できるよう、計画的なマネジメントを行います。また、公共施設等の更新等の際には、省エネルギー・省資

安全で利用しやすい公共施設
等のマネジメントプロジェクト

重点戦略
③

- ◇公共施設等総合管理事業
- ◇道路舗装事業
- ◇橋りよう耐震化整備事業
- ◇交通安全施設整備事業
- ◇公共下水道管路整備事業
- ◇排水機場施設維持管理事業
- ◇公共下水道ポンプ場改修事業

(雨水)

- ◇公共下水道管路改修事業



▶市民との協働による公園等の維持管理活動が広がっています(越谷アリタキ植物園)

本市では、生産年齢人口の減少がすでに始まっており、これに伴い地域社会や経済の活力の低下が懸念されています。他自治体との都市間競争の中で、より多くの人々が訪れたい、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを行うことが必要です。

そのため、本市の住環境や地域資源などの魅力を発掘・創造し、その魅力を市内外へ効果的に発信していくことにより、都市イメージの向上を図り、住環境として選ばれ、市民がまちへの誇りや愛着を持ち、住み続けたいと思えるまちづくりを展開します。

また、農業・工業・商業など

こしがや魅力発信
プロジェクト

重点戦略
④

- ◇魅力発信事業
- ◇観光物産拠点施設整備事業
- ◇流通・工業系土地利用事業
- ◇観光推進事業
- ◇中心市街地活性化推進事業
- ◇再生可能エネルギー推進事業
- ◇産業活性化推進事業

の産業活性化や雇用創出、新たな観光のコンテンツを生かし、本市を訪れる交流人口の増加を目指します。

重点戦略事業



▶産業への理解を深め、地域経済との交流・連携を強化します(こしがや産業フェスタ)

低

湿地という地勢から、本市は、古くから水防に取組んできました。近年は、異常気象による自然災害が各地で起きており、本市では、平成25

(汚水)

- ◇公共下水道ポンプ場改修事業

年9月に竜巻により多くの被害が発生しました。また、平成23年に発生した未曾有の災害である東日本大震災を教訓に、今後発生が予測される首都直下地震等の災害に備える必要があります。

一方、高齢化が急速に進み、急な疾病に不安を持つ市民が多くなっており、救急医療体制の充実が求められています。

安心を実感できる命と
財産を守るプロジェクト

重点戦略
⑤

そのため、いざというときに市民の命と財産を守ることができるよう、災害対応力の強化を図るとともに、さまざまな災害リスクを想定し、被害を最小限に食い止める取り組みを進めます。また、市民が安心を実感して暮らせるよう、救急医療体



▶保健衛生体制と救急医療の充実を図ります(平成27年の中核市移行に伴い設置した保健所・夜間急患診療所)